



越 光男 (KOSHI Mitsuo)

東京大学名誉教授

東京大学工学部燃料工学科卒業、
同大学院工学系研究科反応化学専攻修士課程修了、
同博士課程修了 (工学博士)。

東京大学工学部反応化学科助手、同専任講師、同助教授を経て、1993 年より教授 (～2008 年)。2008 年より JAXA 社会連携講座 特任教授 (～2013 年)。

専門は化学反応論、燃焼化学。4 年前に現講座 (JAXA 社会連携講座) に移動する前は、レーザを用いた化学素反応の研究や衝撃波管を用いた高温化学反応の研究などの実験を主体とした研究、および原子分子レベルでの反応素過程や爆薬の起爆過程の理論研究を行ってきた。また、燃焼化学反応機構に関する研究、自動車エンジン燃焼における化学反応の研究などもおこなった。現職になってからは主として量子化学計算と化学反応論に基づいたロケット燃焼反応機構の構築、化学反応機構と流体シミュレーションのカップリングに関する研究を行っている。

おもな著作として、『デトネーションの熱流体力学 1』(共著、理工図書、2011)、『大学院講義物理化学第 2 版 II. 反応速度論とダイナミクス』(共著、東京化学同人、2011)、『触媒 CVD の新展開—ラジカルを用いる新プロセス技術』(共著、シーエムシー出版、2008)、『発破工学ハンドブック』(共著、共立出版、2001)、『宇宙環境利用のサイエンス』(井口洋夫監修、裳華房、2000)、『光熱変換分光法とその応用』(澤田嗣郎編、学会出版センター、1997) などのほか、論文多数。

火薬学会学術賞 (2002)、Glass Memorial Award (2007)、日本燃焼学会論文賞 (2009) などを受賞している。